

都中英研だより

第 53 号

東京都中学校英語教育研究会
会 長 備里川 正人
(足立区立第十四中学校長)

新たな創造を目指して

東京都中学校英語教育研究会
会 長 備里川 正人

I. はじめに

5月17日の都中英研の総会で、昨年度に引き続き会長職を務めます、足立区立第十四中学校長の備里川正人（びりかわまさひと）と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、私たちの先輩である都中英研副会長の鬼原芳枝先生、中村 馨先生、山本展子先生の3人が、昨年度末をもって定年退職されました。長い間、本会のためにご尽力され、また後輩のためにご指導いただきありがとうございました。

さらに突然ではありましたが、同じく副会長の坂下孝憲先生と加藤良則先生もご勇退され、大きな力を失いました。

5人の先生の存在は、あまりにも大きなものがありました。それでも新しく加わった役員や部員の皆様と力を合わせて、本会の発展のために、今年度も頑張る決意です。

II. 平成19年度の行動目標

東京都中学校英語教育の新たな創造を目指して、以下の行動目標を総会で確認しました。

1. 組織の充実とその活性化を積極的に図る。
 - (1) 都中英研の組織がより強固なものとなるようその充実を図り、改善を行う。
 - (2) 都中英研の各種事業により多くの教員や学校が参画することを通して、その活性化を積極的に図る。
2. 財政基盤の充実を積極的に図る。
 - (1) 従来の事業内容を見直し、経費の節減を積極的に図る。
 - (2) 新たな事業の展開を積極的に行い、収入源の確保を図る。
 - (3) 会費制の導入について積極的にその検討を行う。
3. 人材の育成を積極的に図る。
 - (1) 有能な人材を発掘し、リーダー層の育成

を積極的に図るとともに、英語教員全体の資質向上を推進する。

- (2) 教員の資質向上を目指した研修事業を積極的に企画し遂行する。
4. 調査・研究機関の充実を積極的に図る。
 - (1) 英語教育に関わる基礎的事項や活動実態についての調査活動を積極的に遂行する。
 - (2) 英語教育に関わる今日のかつ実践的な課題についての研究活動を積極的に遂行する。
5. 英語教育に関わる関係機関や関係団体との連携を積極的に図る。
 - (1) 「全英連中学校部会」との関わりを一層深め、外部機関と主体的に発信できる組織作りを目指す。
 - (2) 文部科学省や東京都教育委員会との関わりをより充実させる。
 - (3) その他、英語教育に関わる関係諸団体との関わりをより充実させる。
6. 英語教育に関わる各種情報の収集ならびにその発信を積極的に図る。
 - (1) これまでの広報媒体を活用して、各種情報の発信を積極的に行う。
 - (2) H. P の活用を図り、それを通して各種情報の受・発信を積極的に行う。



III. さいごに

都中英研は大きく変わろうとしています。いや変わらなくてはなりません。全英連との関係もより強い絆をもとに、連携を深めています。

また、都立中高一貫校や区立中高一貫校との連携も探らなければなりません。

また、かつて関ブロ東京大会を北とぴあで開催した成功を思い出すときもありますが、もう3年後に迫った平成22年度に開催する東京大会の準備をもう始めようとしています。これ以外にも多くの挑戦すべき試みと課題もありますが、多くの英知を結集して、いつも信頼される都中英研でありたいと願っています。

都中英研総会開催される



〈都中英研総会〉



〈都中英研役員一同〉

平成19年度の都中英研総会が、5月17日(木)豊島区立勤労福祉会館において開催された。備里川 正人会長(足立区立第十四中学校長)の挨拶、平成18年度の各部の事業報告、決算報告、監査報告に続き、平成19年度の事業計画案及び予算案が提案され、承認された。平成19年度、都中英研の役員は次の通り。

〈 役 員 紹 介 〉

役 職	氏 名	所 属 校	職 位
会 長	備里川 正 人	足立区立第十四中学校	校 長
副 会 長	竹 下 賢	渋谷区立松濤中学校	校 長
”	清 水 研一郎	江東区立南砂中学校	校 長
”	田 幸 徹	足立区立花畑北中学校	校 長
”	大 野 容 義	昭島市立清泉中学校	校 長
”	井 田 宗 宏	東久留米市立東中学校	校 長
”	廣 田 幸 男	小平市立花小金井南中学校	校 長
副会長・PT部長	安 原 美 代	三鷹市立第三中学校	校 長
副会長・総務部長	飯 島 光 正	豊島区立西池袋中学校	校 長
事 業 部 長	横 山 達 也	多摩市立和田中学校	教 諭
調 査 部 長	重 松 靖	国分寺市立第二中学校	副校長
研 究 部 長	北 原 延 晃	狛江市立狛江第一中学校	教 諭
出 版 部 長	池 田 武 男	西東京市立田無第四中学校	副校長
経 理 部 長	牛 島 順 子	港区立赤坂中学校	校 長
情 報 管 理 部 長	石 川 賢 司	墨田区立墨田中学校	副校長
会 計 監 査	和 田 雅 光	足立区立第四中学校	校 長
”	稲 葉 秀 哉	板橋区立第三中学校	校 長
”	和 田 文 宏	世田谷区立桜丘中学校	副校長

※都中英研公式ホームページが7月1日、リニューアルしました。
<http://www.chueiken-tokyo.org>

都中英研コミュニケーションテストを実施します！

1. コミュニケーションテストの目的と特徴

- ① 2・3年生の9月末までの履修範囲で、各領域別に到達度を測り、東京都全域で実施し、全都内参加校の平均点を示すことのできるテストです。
- ② 「テスト問題は授業の裏返し」、「評価は授業の道しるべ」と考え、コミュニケーション的な授業の内容を生かし、実際の言語の使用場面での運用力を測ります。
- ③ 5領域別に、何を測るかというねらいを明確にして問題を作成するので、観点別評価をつける時に評価材料となります。
 - 5領域 Listening, Reading … [理解の能力]
 - Writing … [表現の能力]
 - Grammar, Vocabulary … [言語や文化についての知識・理解]
- ④ 領域別に結果が診断されるので、生徒の反省点・指導の改善に役立ちます。
- ⑤ 実際の生活場面を考慮し、そこで使われている言語をできるだけ多く扱います。また、自らの考えを表現する文は複数の解答許容範囲を設けています。

2. 対象学年 2年・3年生

3. 出題範囲 原則として、9月末までの履修範囲とする。（原則として都内で使用されている主要教科書の言語材料に共通したものから出題）

4. 実施期間 10月上旬～11月上旬

5. 所要時間 50分（リスニングテスト10分前後を含む）

6. 送付資料 生徒へ 成績個人表（観点別評価も）、学習の手引き 先生へ 出題のねらい、参加校の都平均点・分布表、結果報告書

7. 申込期間 5月下旬～9月中旬

8. 申込方法 申込書を送ってください。（都交換もしくはFAXで）

送り先
問合わせ先

〒187-0003 小平市花小金井南町1-9-1
小平市立花小金井南中学校 校長 廣田 幸男 宛
TEL. 042-465-0451 FAX. 042-465-0410

9. 代 金 一人280円

（内訳・問題作成・答案処理・集計や分析・録音・報告書作成など）

10. その他 送金方法・事後処理などは参加校が決定後お知らせします。

なお、調査部のこれまでの実践をまとめた「コミュニケーション・テストへの挑戦」
（リスニングテストCD付き）（根岸雅史 都中英研 編集 三省堂）が出版されました。

第57回 全英連福島大会のお知らせ

期 日：平成19年11月9日（金）～10日（土）

会 場：第1日（11月9日）郡山市民文化センター

第2日（11月10日）ビッグパレットふくしま

日 程：第1日（11月9日） 9：30～16：50 総会・講演・授業実演及び合評会

講演 講師 東後勝明（早稲田大学教育・総合科学学術院教授）

演題 「今、英語教師に最も求められているもの」－教育の原点を見据えて－

第2日（11月10日） 9：30～12：30 分科会1部・2部

その他：第57回全英連福島大会ホームページ

<http://www.zeneifukushima.gr.fks.ed.jp/>

平成19年度 中英研年間事業計画

中英研では英語教育の振興を図ることを目標に、次のような事業を実施しています。指導技術や識見の向上を目指し、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

平成19年度総会・各部会 (総務部) 5月17日(木) 豊島区立勤労福祉会館

英語指導技術向上のために

授業力アップ研修会(事業部)
9月～10月(市部にて実施予定)

第9回サマーワークショップ(事業部)
8月16日(木)
文京区立第一中学校

夏休みの語り指導ワークショップ(研究部)
7月～8月 会場は検討中
公開授業および研究発表会(研究部)
平成20年2月 会場は検討中

指導の成果を確かめるために

中英研コミュニケーションテストの作成・実施・報告書作成(調査部)
8月問題提示 10月～11月実施
1月報告書配布

定期刊行物の発行

中英研だより[年2回53号、54号](出版部)
中英研会報 66号

英語の発表会

第60回英語学芸大会(事業部)
12月2日(日) 大田区民センター

その他の研究会・協議会

都教育委員会主催事業への参加・協力
全国英語教育研究団体連合会中学校部会(国立オリンピック青少年総合センター) 7月26日(木)
十五大都市公立中学校英語教育研究会連絡協議会(神戸大会) 10月12日(金)
関東甲信地区中学校英語教育研究協議会(神奈川大会) 11月16日(金)
全国英語教育研究団体連合会研究大会(福島大会) 11月9日(土)～10日(日)

第31回関東大会甲信地区中学校英語教育協議会神奈川大会のお知らせ

期日：平成19年11月16日(金)
会場：全体会場 茅ヶ崎市民文化会館
分科会会場 寒川町立旭が丘中学校(第一分科会)
茅ヶ崎市立中島中学校(第二分科会)
茅ヶ崎市立浜須賀中学校(第三分科会)
茅ヶ崎市立鶴が台中学校(第四分科会)
時程：9:40～10:30 全体会・公演
13:30～16:30 公開授業・分科会
講師：高橋一幸(神奈川大学外国語学部准教授)

プロジェクトチーム部の紹介

都中英研では、プロジェクト・チーム部を設置し、都英語教育の課題よりテーマを設定し、授業改善のための研究を進めています。

本年度はそのための基礎的な理論学習の年と位置づけ、文献研究(第二言語習得理論)や授業研究(クラスルームオブザベーション)、調査研究(アクションリサーチ)等を行っています。

◇出版部より

本年度も授業研究を中心に実践的な活動報告の特集を企画しています。日常の授業に役立つ先生方のちょっとした工夫をぜひ出版部までご紹介ください。

連絡先：西東京市立田無第四中学校 池田武男
(TEL 042-465-6113 FAX 042-469-2181)